

谷地川における水質異常事故について（第二報） ～モニタリング調査結果及び今後の対応について～

令和8年（2026年）5月21日（木）の谷地川における水質異常事故における、モニタリング調査結果及び今後の対応についてお知らせいたします。

1 調査概要

谷地川への影響等をモニタリングするため、計量証明事業者による水質調査を実施しました。

2 調査日（採水日）

令和8年（2026年）5月22日（金）

3 調査結果

調査地点（次項 調査地点図 参照）において、人の健康に影響を及ぼすおそれは認められませんでした。

【参考値】

検査項目	調査結果	（参考）昨年度の状況
pH(水素イオン濃度) ※1	7.1	8.0～9.4
BOD(生物化学的酸素要求量) ※2	3.0 mg/L	0.5～3.4 mg/L
ふっ素及びその化合物 ※3	0.08 mg/L 以下 ※5	0.05～0.06 mg/L
鉄 ※4	1 mg/L	0.1 mg/L 以下 ※5

※1 水の酸性やアルカリ性の度合いを確認する項目です。人の健康の保護に関する環境基準はありません。7.1は標準的な水素イオン濃度です。

※2 水の汚れを示す指標の一つです。人の健康の保護に関する環境基準はありません。3.0 mg/Lは平常時と同水準の数値です。

※3 高濃度のふっ素化合物は健康影響のリスクが確認されています。人の健康の保護に関する環境基準は、0.8 mg/L 以下です。

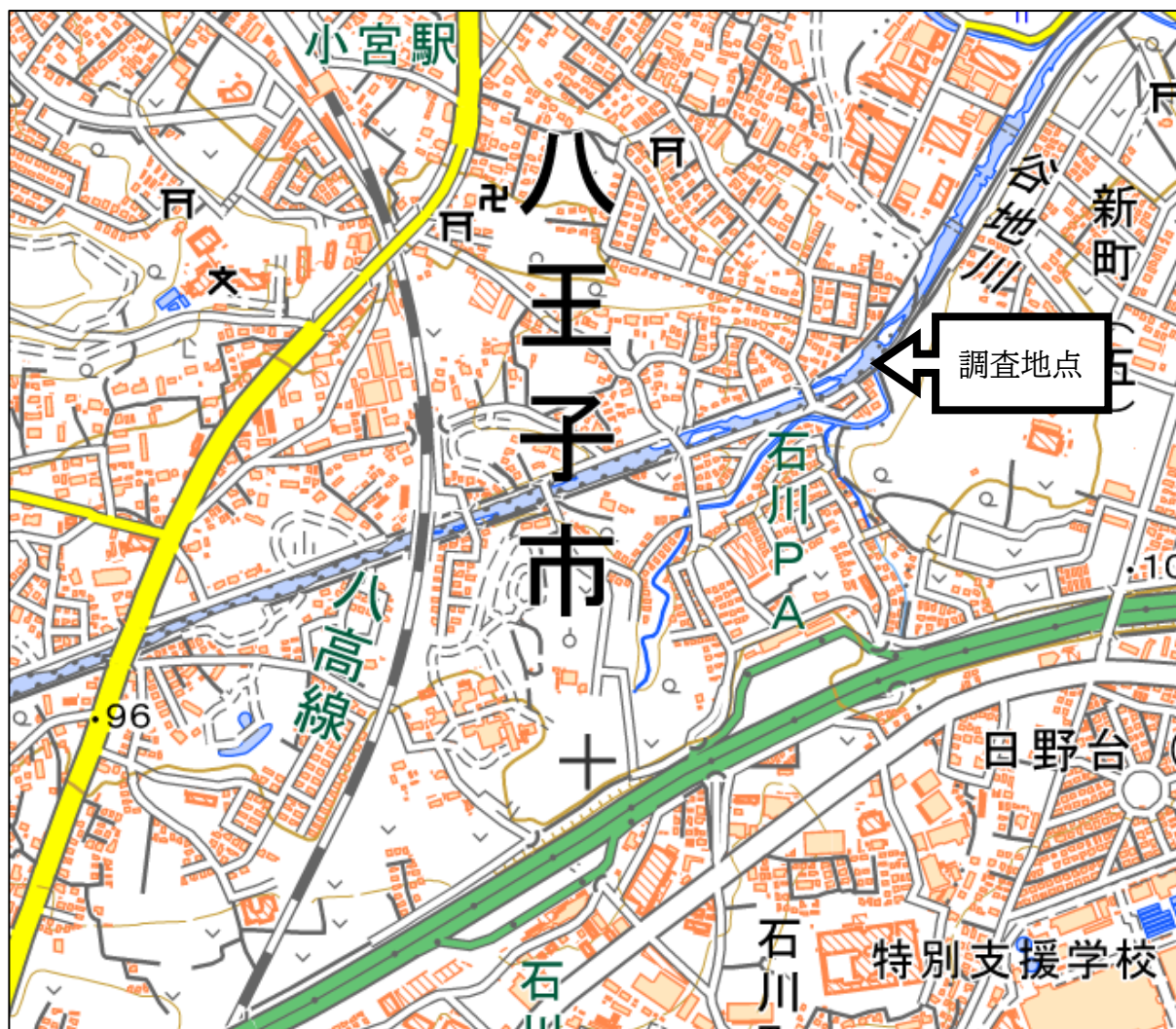
※4 高濃度になると川の着色などの影響があります。人の健康の保護に関する環境基準はありません。1 mg/Lは低濃度の数値です。

※5 「0 mg/L 以下」は測定可能な下限値以下であることを示します。

4 今後の対応

事業者に対し、事故再発防止措置計画書の作成及び計画書に基づいた適切な措置について指導することで、再発を未然に防止します。

調査地点図



出典：国土地理院